

要請番号 (JL30619B23)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボリビア	C103 野菜栽培	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・ 2020/1 ・ 2020/2 ・ 2020/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

農村開発・土地省

2) 配属機関名 (日本語)

熱帯農業研究センター

3) 任地 (サンタクルス県マイラナ市) JICA事務所の所在地 (ラパス県ラパス市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で 約 6.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

熱帯農業研究センター(CIAT)は、サンタクルス県管轄の農業研究機関であり、研究課、研修課、技術移転課、総務課の4つの部門から組織されている。サンタクルス県内に9つの試験場を所有し、各地域で農家と連携しながら品種改良や病虫害対策、新種の苗の育成を行い、その土地の特性に合わせた農業開発に貢献している。年間予算はおよそ176万ドルで総従業員数は約150名。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

亜熱帯地域であるバジェ地方は野菜、果物の生産が盛んであるが、安全性が確認されていない農薬を大量に使用しているため、健康への影響が懸念されている。また、土壌状況を考慮しない過剰な肥料の散布、不適切な肥料の使用、自然災害による収穫高の不均衡等により、安定した生産ができていない状況である。要請元である熱帯農業研究センターは、各地域の特産品ごとに、土壌改良や適切な肥料・農薬の使用の指導、病虫害対策や気候の変化に強い品種改良、苗の育成を農家と共に行いながら改善に取り組んでいるが、問題の解決までには至っていない。そこで農薬の量を抑える生産方法の普及、病虫害対策、日本の農業技術の紹介・導入支援が求められ、今回のJICA海外協力隊要請に至った。マイラナ市を拠点として、バジェグランデ市・キルシジャ市の3市での活動が検討されている。キルシジャ市の農地は斜面が多く、段々畑の農耕に取り組んでいる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

カウンターパートや配属先同僚と協力しながら、以下の活動を行う。

1. 農薬・肥料の適切な使用方法の普及を支援する。
2. 品種改良・病虫害対策に関わる研究を支援する。
3. 農家に対する講習会の企画や運営を支援する。
4. パイロット農家への巡回指導 (各地域4-5軒)を実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務室、机、公用車(CIAT本部(サンタクルス市))

4) 配属先同僚及び活動対象者

本部(サンタクルス市): 50代 男性 経験25年
マイラナ市試験場: 40代 男性、経験15年
バジェグランデ市試験場: 40代 男性、経験25年
キルシジャ市試験場: 40代 男性、経験10年

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)又はスペイン語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒）農学 備考：体系的な知識が必要

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：経験ある同僚への指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（10～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

住居はホームステイの可能性あり。